

8-4-22 無電柱化WG

1. 主な活動の記録

(1) 無電柱化 WG の開催

WG 開催回数：5 回（5 月～10 月）

(2) 対外活動

a) 平成 30 年度 道デザイン研究会

無電柱化推進部会への参加

平成 28 年 12 月の無電柱化推進法施行を背景に、産官学で無電柱化の更なるコスト縮減が求められ、国土交通省道路局環境安全・防災課の要請により、平成 29 年度に引続き、道デザイン研究会 無電柱化推進部会への参加およびコスト縮減の新たな手法として「既設側溝を活用した無電柱化手法」について検討を行った。

無電柱化推進部会は、学識者、民間有識者の他、電力 WG、通信 WG、行政 WG、民間 WG、コンサル WG で構成され、検討結果はコンサル WG として報告した。

・無電柱化推進部会：5 回（5 月～3 月）

b) WG 活動

「道路の無電柱化低コスト手法導入の手引き(案)Ver. 1」の改訂に向け、新たな手法である「既設側溝を活用した無電柱化手法」について、WG メンバーの担当を決め、「特徴」「適用条件」「基本構造(案)」「整備イメージ」「留意点」について整理・検討し、概算工事費を含め検討を行った。

c) 平成 30 年度 道デザイン研究会

無電柱化推進部会 合意形成 WG への参加

無電柱化を担当する地方公共団体等が無電柱化事業を実施する際に参考となるよう、事業の計画・実施における合意形成の進め方に関する手引きを作成することを目的に無電柱化推進部会の下に合意形成 WG が設置され、国土交通省道路局環境安全・防災課の要請により、WG へ参加した。当 WG は令和元年度も継続開催が予定されており、参加する予定である。

・合意形成 WG：2 回（3 月）

d) 官民連携無電柱化支援事業

各地区協議会へのアドバイザー派遣

官民連携無電柱化支援事業に選出された地区において開催された協議会において、国土交通省道路局環境安全・防災課の要請により、アドバイザーを派遣した。

・全国 5 地区：7 回（5 月～12 月）

e) 活動成果

今年度、無電柱化 WG として取り組んだ「既設側溝を活用した無電柱化手法」については、今回改訂された手引き(案)Ver. 2 には章として掲載されなかったが、新たな手法として少なからず可能性をみた。

また今年度を通じ、推進部会での意見等、積極的に取組み、手引き改訂の一端を担った。

・道路の無電柱化 低コスト導入の手引き(案)

-Ver. 2- 平成 31 年 3 月

国土交通省道路局環境安全・防災課

2. 次年度の活動について

道デザイン研究会等、今年度の活動を継続実施するとともに、全国のモデルケース地区や地方公共団体への技術的アドバイザー等を行う。

(無電柱化WG WG長 沼田 和宏)